

貧酸素水塊速報 (2014年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター
 ○ 神奈川県水産技術センター
 【協力】 千葉県環境研究センター
 第三管区海上保安本部
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

千葉県農林水産技術会議
 内湾底びき網研究会連合会
 ○ 東京都環境局
 (独) 国立環境研究所

平成26年6月2～5日観測結果

貧酸素水塊は内湾中央部から市原沖に分布しており、溶存酸素量が1ml/L以下と強く貧酸素化している海域も見られます(図1)。

鉛直分布を見ると、溶存酸素量が極度に低い水塊(1ml/L以下)はまだそれほど厚みがありませんが、2.5ml/L以下の水塊の規模は例年同様に拡大しつつあります(図2、3)。また、貧酸素化している観測点では底層水から硫黄臭がしました。

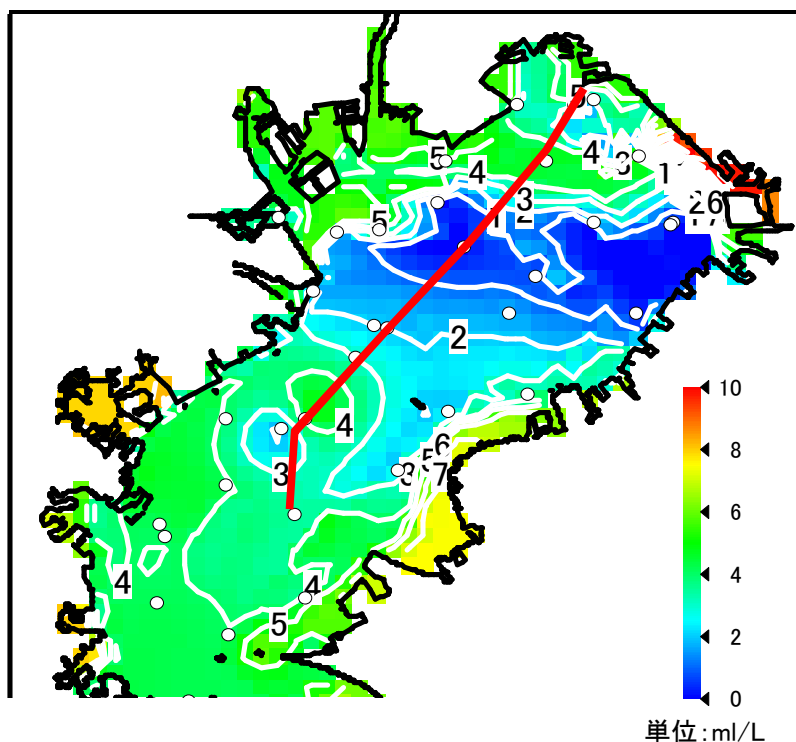


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

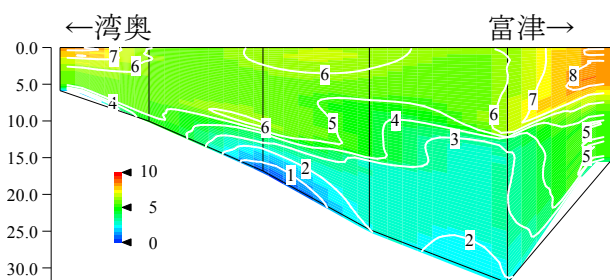


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

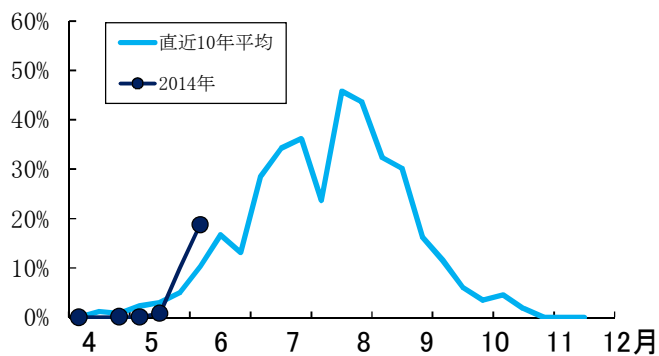


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)